

ポータブルクーラー IPA-2223G

取扱説明書(WEB)

ポータブルクーラー

型番:IPA-2223G



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

 PDF 形式でご覧になりたいかたは、[こちら](#)をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge(最新版)、Google Chrome(最新版)

—WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

— 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に.....	6
安全上の注意.....	6
使用上の注意.....	11
冷媒に関する注意.....	14
各部の名称(本体).....	15
各部の名称(操作パネル).....	17
各部の名称(リモコン).....	18
付属品を確認する.....	19
運転前の準備.....	21
リモコンを準備する.....	21
設置する.....	22
窓パネルの組み立てと取り付け.....	25
必要に応じて使用する.....	32
使いかた.....	36
冷風運転.....	36
除湿運転.....	38
送風運転.....	39
タイマー運転.....	40
おやすみ運転.....	42
風向調節.....	44
その他の機能.....	45

排水する.....	48
排水について.....	48
通常排水.....	49
連続排水.....	50
お手入れ.....	52
お手入れについて.....	52
本体.....	53
エアフィルター.....	54
保管のしかた.....	56
こんなときは.....	57
こまったときは.....	57
エラー表示がでたら.....	60
アフターサービスとその他の内容.....	62
仕様.....	62
長期使用製品について.....	63
保証とアフターサービス.....	64
お問い合わせ.....	65

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P6](#)

→ [注意 P8](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------

	警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
---	--

	電源プラグ・電源コードについて - 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取り除く。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。ショートによる火災・感電の原因になります。 - 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しや操作をしない。感電・やけど・けがの原因になります。
	- 電源コードをたばねて通電しない。過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。 - 電源コードを傷つけない。傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - 延長コードの使用、たこ足配線はしない - 電源プラグを抜いて停止しない - 持ち運びや収納時に電源コードを引っ張らない

	電源コードがつっぱった状態で使用しない 火災・感電の原因になります。
	設置について - 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管する 誤って被ると、窒息死の原因になります。 - 付属品は、重量に耐える場所に確実に取り付ける。また、取り付けは必ず付属の窓パネルや指定の部品を使用し、正しく行う 取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になります。 - 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する 水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。 (ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。) 詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
	- 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけないまた、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料などの引火性のもの、爆発のおそれのあるものの近くでは使用しない 爆発・火災・故障・変形の原因になります。 - 暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所では使用しない 故障・変形の原因になります。
 アースを 接続	アースを取り付ける アース工事(D 種接地工事)を行うときは、販売店または専門業者に依頼してください。 ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しないでください。感電の原因になります。 故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
 プラグを抜く	- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 内部に水・異物などが入った - 異常な音・振動やにおいがする - 変形したり、ひび割れしたりしている - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとピリピリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

	・ 吸込口・吹出口・排気口にピンや針金などの異物、または指を入れない 本体内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。 ・ 製品の分解や修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	・ 本体を水につけたり、本体に水をかけない 火災・感電の原因になります。

	注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。
---	-----------	--

	リモコンの電池についての注意 ・ 電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 長期間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。 液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。 ・ 乳幼児の手の届くところに置かない 誤操作による体調悪化、誤飲の原因になります。
 分解禁止	・ 分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。
	・ 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 ・ 乾電池は絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。
	本体についての注意 ・ 本体の上にものを載せない ・ 本体に洗濯物などをかけない 落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。 ・ 吸込口・吹出口・排気口をふさがない 風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。

	・ 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない 過熱して火災の原因になります。
	お手入れについて ・ 窓パネルを設置する際は不安定な台に乗らない 転倒してけがの原因になります。 ・ 本体内部の金属部に触れない けがをするおそれがあります。 ・ 本体を水洗いしない 漏電による感電の原因になります。
	・ 屋外では使用しない 故障・感電の原因になります。 屋内あるいは準屋内(屋根があり直射日光や雨が当たらない場所)で使用してください。 ・ 障害物(カーテンなど)の近くや不安定な場所(傾斜がある場所など)では使用しない 本体転倒・事故・故障の原因になります。 ・ 押し入れや家具の隙間、机の下など狭い場所では使用しない 発火・故障の原因になります。 ・ 次のような場所では使用しない - ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所 - 温室やビニールハウスなど湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所 - 工場内や飲食店、厨房などの油のつきやすい場所 - 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所 - 火花が散るような場所 - 加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所 感電・火災・破損・故障の原因になります。 ・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。殺虫剤の使用後は、十分換気をしてから運転してください。
	・ 長時間冷風を身体に当てない ・ 冷風温度を下げすぎない 特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。 ・ 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。

	・ 本体の移動は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する 水もれして家財などをぬらしたり、漏電による感電・火災の原因になります。また、床を傷つけたり、けがの原因になります。 ・ ヒーターなどの燃焼器具と一緒に使う場合はこまめに換気する 換気が不十分な場合は、一酸化炭素中毒、酸素不足の原因になります。
	・ 乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使用しない 次のような方がご使用になる場合は、お手数でも周りの方が注意してください。 - 乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方 - 深酒や睡眠薬を飲まれた方 感電やけが、体調不良の原因になります。
	電源プラグ・電源コードについて ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ほこりがたまることによる絶縁低下により、火災・感電の原因になります。 ・ お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く けがの原因になります。 ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- ・ ルームエアコンとは異なりますので、簡易的な冷房としてお使いください。
- ・ お部屋の広さによっては、十分に冷えない場合があります。
- ・ 排気ダクトや窓パネルは正しく取り付けで使用してください。
お部屋が冷えない原因になります。
- ・ 電源プラグを抜き差しして再度運転する場合は、3 分以上間隔を空けてください。
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一度運転を停止して電源プラグを抜いてください。
再度運転する場合は、3 分以上待ってから運転させてください。

設置について

- ・ テレビやラジオなどの AV 機器から 2 m以上離してください。
電波障害の原因になります。
- ・ 直射日光が当たる場所には設置しないでください。
本体内部の温度が上昇し、運転が停止する(→[エラー表示が出たら P60](#))おそれがありますので、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
- ・ 窓パネルは、雨どいの真下を避け、強い風などにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。

使用について

- ・ 冷風・除湿運転時は、室温 16～35℃の範囲でお使いください。
指定の温度範囲外で使用すると、機械の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。
- ・ エアフィルターを外した状態で使用しないでください。
本体内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- ・ 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。
- ・ ゴム栓、ゴム栓カバー、下部排水ゴム栓は、正しく取り付け、取り外しを行ってください。(→P24、25)
水もれの原因になります。
- ・ 騒音に注意してください。
設置場所や本製品自体の振動などにより、騒音が発生する場合があります。
 - 排気口からの風の騒音
 - 排気口からの風が近傍のものに当たったときの騒音
 - 不安定な場所に設置したときの振動による騒音
 - コンプレッサーの振動による騒音

- ・ 雨や風が強いときは、窓パネルの使用を中止し窓パネルを取り外してください。
室内を汚す原因または破損の原因になります。
- ・ ドレン水を受けている容器の水量をこまめに確認し、排水ホースの先はドレン水に浸からないようにしてください。
ドレン水が室内にこぼれて、家財などをぬらす原因になります。
- ・ 連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がりや落差などに注意してください。

お手入れについて

- ・ 長期間(1 か月以上)使用しないときは、リモコンの乾電池を取り外してください。
- ・ エアフィルターのお手入れはこまめに行ってください。
エアフィルターにほこりが詰まると風量が減少し、能力が低下します。
また、エアフィルターを外したまま運転をすると内部にごみが付着し、故障の原因になります。必ずエアフィルターを取り付けてお使いください。

異常時は

- ・ ポータブルクーラーを運転しても冷えないときは、以下について確認してください。
 - お部屋が閉め切られていない
 - 窓パネル・排気ダクトが正しく取り付けられていない
 - 窓パネルのシャッターが開いていない
 - 室内の温度が高すぎる

上記を確認しても改善しない場合、お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。

冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は人体に対して安全ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

知っておいていただきたいこと

- ・ リモコンは落したり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- ・ リモコンの受信距離は正面で約 7m 以下です。室内に電子点灯形(インバーター形)の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- ・ リモコンの送信部を本体正面に向けて操作してください。本体正面以外へ向けると動作しないことがあります。
- ・ リモコンの送信部と本体正面のリモコン受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- ・ リモコン操作をしても動作しない場合、もしくは動作が正常でない場合は、乾電池を交換してください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池、もしくは種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・ 本製品は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。

- ・ 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

廃棄について

- ・ 本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。
- ・ 廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者(登録制)に委託し、適切に処理してください。
- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

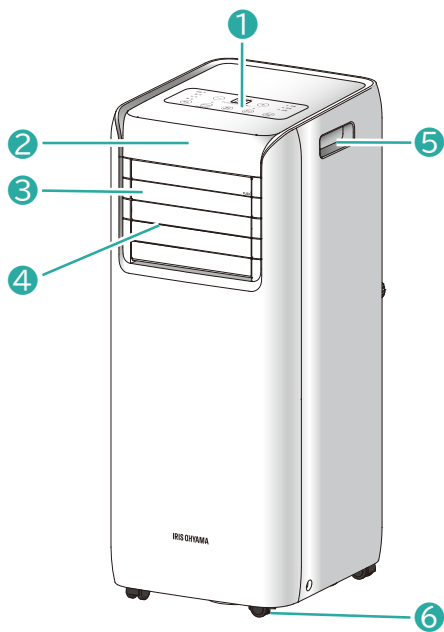
冷媒に関する注意



この製品には、GWP(地球温暖化係数)が 675 のフロン類(R32)が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄する場合フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口を確認をお願いいたします。

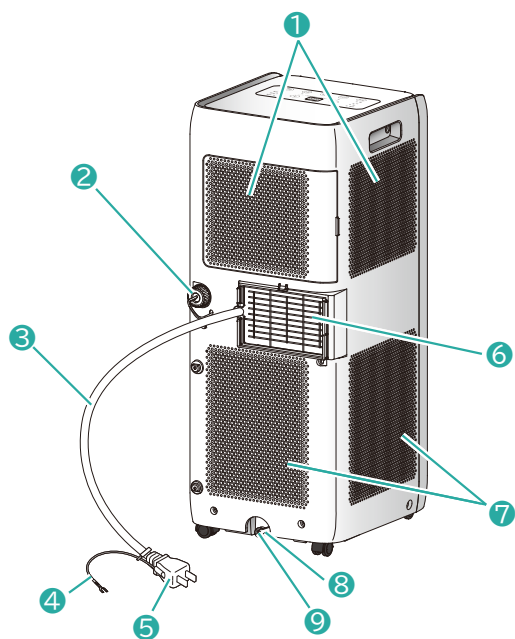
各部の名称(本体)

— 正面



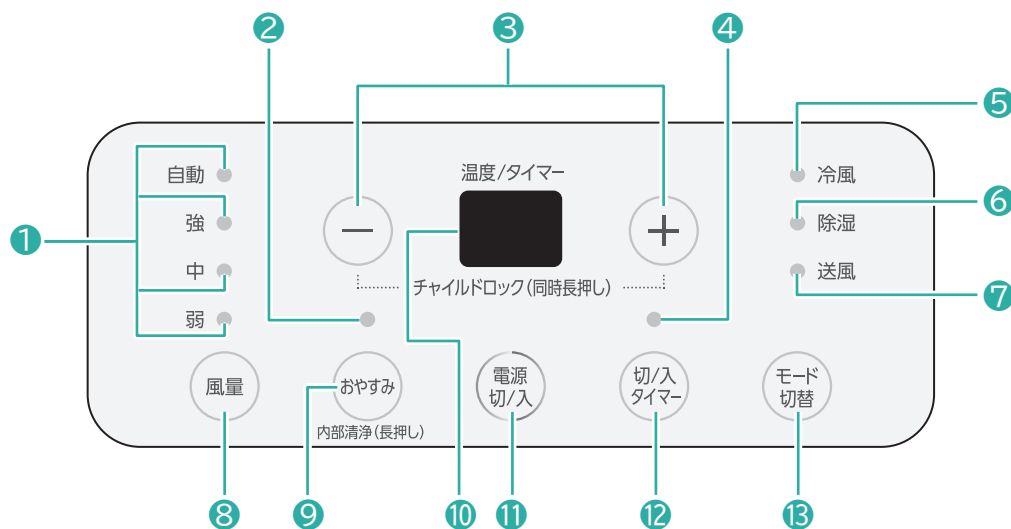
- ① 操作部・表示部
- ② リモコン受信部
- ③ 吹出口
- ④ ルーバー
- ⑤ 取っ手
- ⑥ キャスター

背面



- ① 吸込口(内部にエアフィルター)
- ② 上部排水口(ゴム栓カバー、ゴム栓)
- ③ 電源コード
- ④ アース線
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ 排気口
- ⑦ 吸気口
- ⑧ 下部排水口
- ⑨ 下部排水ゴム栓

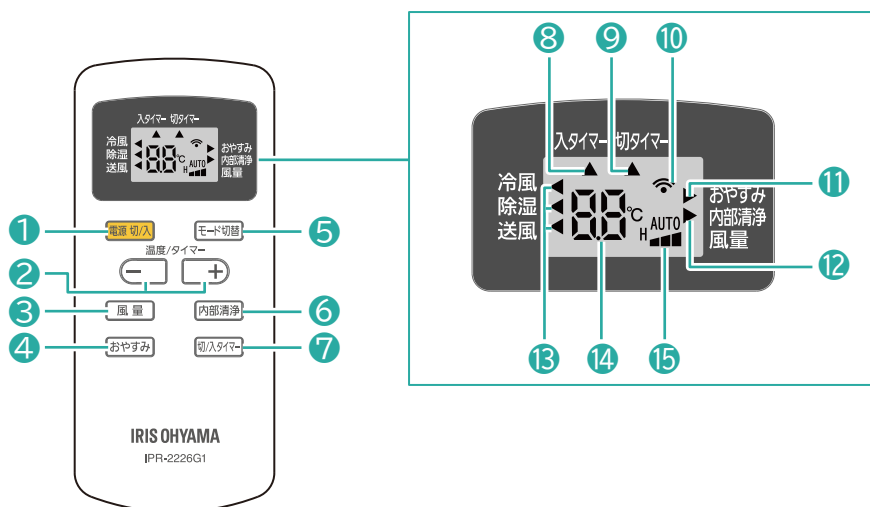
各部の名称(操作パネル)



- ① 風量ランプ
- ② おやすみランプ
- ③ 温度/タイマーボタン(Ⓐ設定温度を上げる/時間を進める、Ⓑ設定温度を下げる/時間を戻す、Ⓓ3 秒同時長押し:チャイルドロック)
- ④ 切/入タイマーランプ
- ⑤ 冷風運転ランプ
- ⑥ 除湿運転ランプ
- ⑦ 送風運転ランプ
- ⑧ 風量ボタン(風量を選びます)
- ⑨ おやすみボタン(冷えすぎを防止するおやすみ運転をします。3 秒長押しすると、内部清浄運転を開始します)
- ⑩ 設定温度/タイマー時間/エラー表示/モード表示※
- ⑪ 電源切/入ボタン(押すと「入」、もう一度押すと「切」)
- ⑫ 切/入タイマーボタン(入、切タイマーを選びます)
- ⑬ モード切替ボタン(運転の種類を選びます)

※内部清浄・チャイルドロックのみ表示

各部の名称(リモコン)



- ① 電源切／入ボタン(押すと「入」、もう一度押すと「切」)
- ② 温度／タイマーボタン(+温度を上げる／時間を進める、-温度を下げる／時間を戻す)
- ③ 風量ボタン(風量を選びます)
- ④ おやすみボタン(冷えすぎを防止する、おやすみ運転をします)
- ⑤ モード切替ボタン(運転の種類を選びます)
- ⑥ 内部清浄ボタン(約 60 分ファンを回して、熱や湿気を吐き出します)
- ⑦ 切／入タイマーボタン(入、切タイマーを選びます)
- ⑧ 入タイマー表示(→[タイマー運転 P40](#))
- ⑨ 切タイマー表示(→[タイマー運転 P40](#))
- ⑩ 送信ランプ(送信中に点灯します)
- ⑪ おやすみモード表示(→[おやすみ運転 P42](#))
- ⑫ 内部清浄表示(→[その他の機能 P45](#))
- ⑬ 運転モード表示(→[冷風運転 P36](#)、[除湿運転 P38](#)、[送風運転 P39](#))
- ⑭ 温度／タイマー時間表示
- ⑮ 風量表示(弱・中・強・AUTO)

ポイント

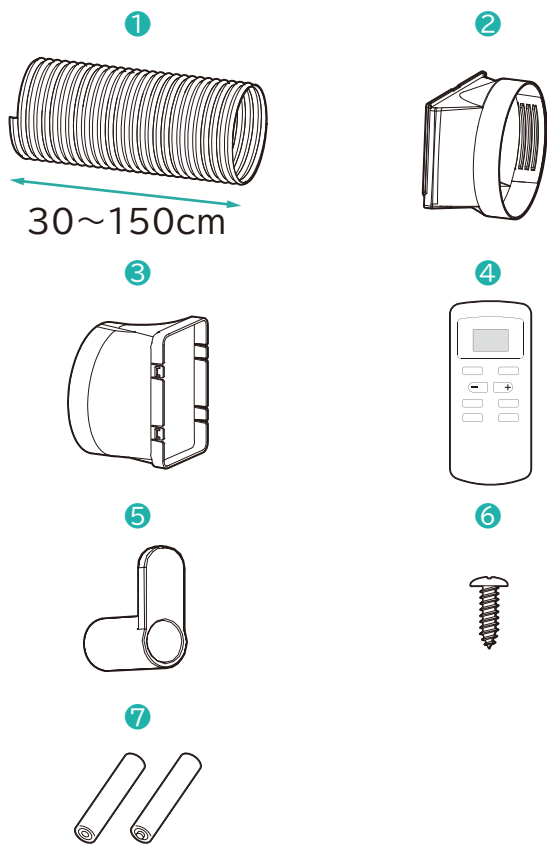
本体の操作パネルで操作したとき、本体とリモコンの設定表示がずれて、リモコンの設定表示とは違う動作をすることがあります。その場合は、再度リモコンで操作すると、本体とリモコンの設定表示が一致します。

関連ページ

- ・ [各部の名称\(操作パネル\) P17](#)

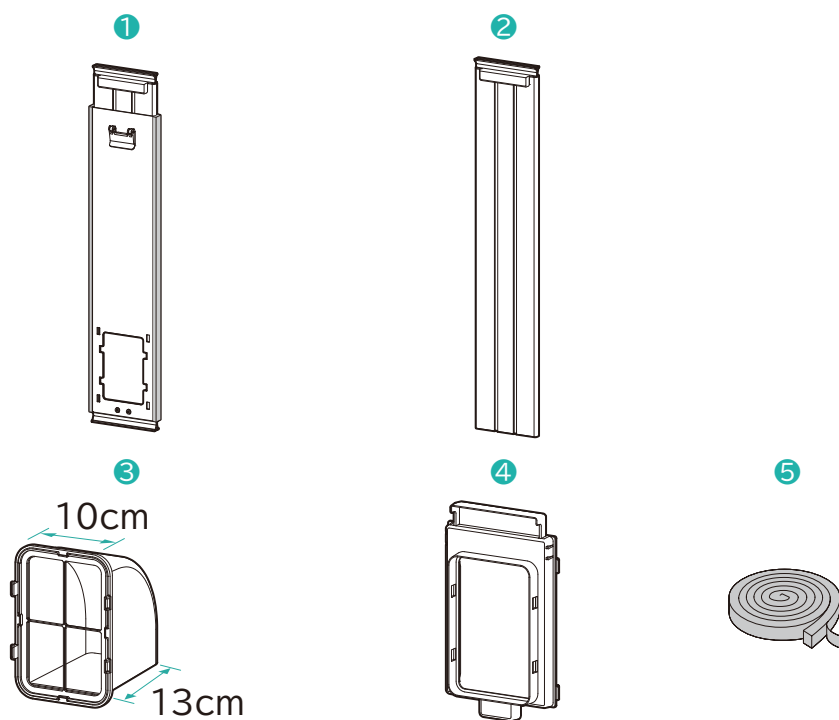
付属品を確認する

— 運転前の準備に使用するもの



- ① 排気ダクト×1
- ② ダクトエンド A×1
- ③ ダクトエンド B×1
- ④ リモコン×1
- ⑤ コードフック×2
- ⑥ ねじ×2(コードフック固定用)
- ⑦ 動作確認用乾電池×2

—窓パネルセット



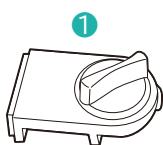
- ① 窓パネル A+B×1 ※購入時は2枚が組み合わせてあります
- ② 窓パネル C×1
- ③ 雨除けカバー×1(虫よけ網付き)
- ④ シャッター+シャッターレール×1 ※購入時は重ねた状態でテープ止めされています
- ⑤ 隙間シール×1

—排水時に使用するもの



- ① 排水ホース×1

—必要に応じて使用するもの

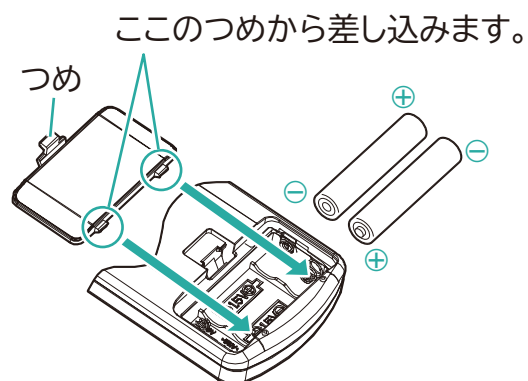


- ① 補助鍵×1
- ② キャスター受け×4

運転前の準備

リモコンを準備する

リモコンの裏ぶたのつめを引いて取り外し、を間違えないように、乾電池を入れてください。



※ 単 4 乾電池 2 本が必要です。

※ 同梱されている電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。



注意

- ・ 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。
「[リモコンの電池についての注意 P8](#)」をよく読んで使用してください。
- ・ 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。

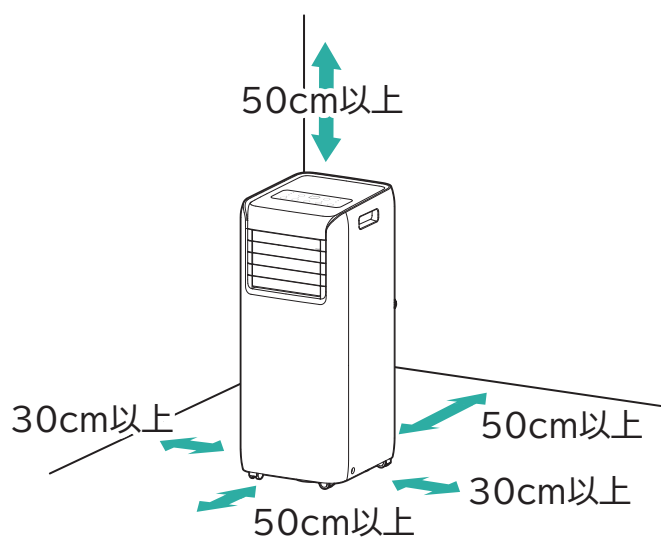
設置する

設置する

！お願い

- ・ 必ず 2 人以上で設置・移動を行ってください。
- ・ 効率よく運転するために下図のスペースを確保してください。
 - ※ 平らでしっかりとした床面に設置してください。
 - ※ 上方の棚などから物が落ちない場所に設置してください。

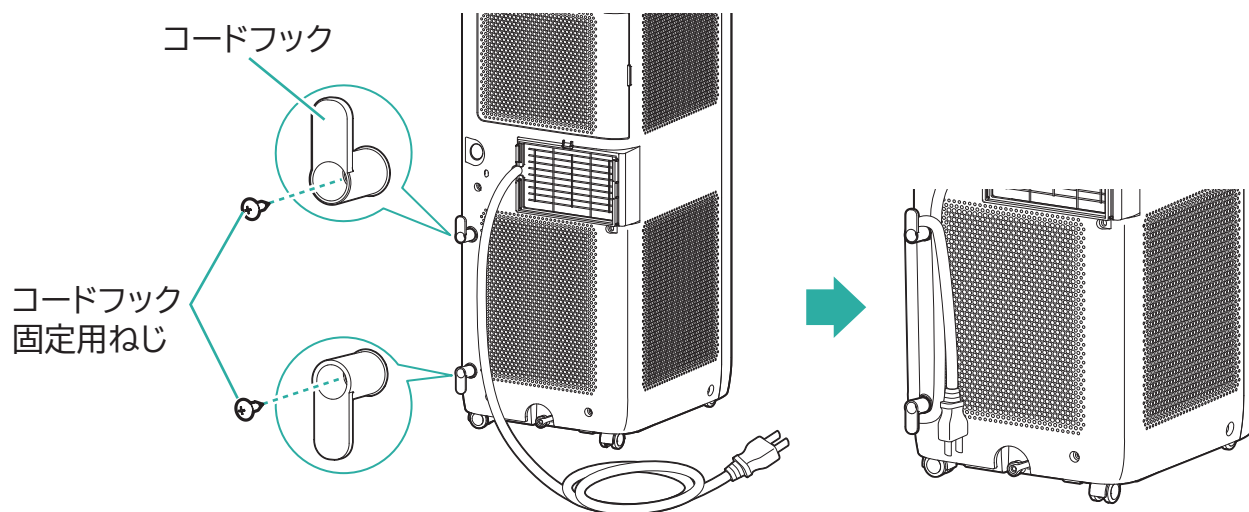
1



コードフックを取り付ける

- ・ コードフックをおさえながら、2 か所をコードフック固定用ねじで固定してください。

2

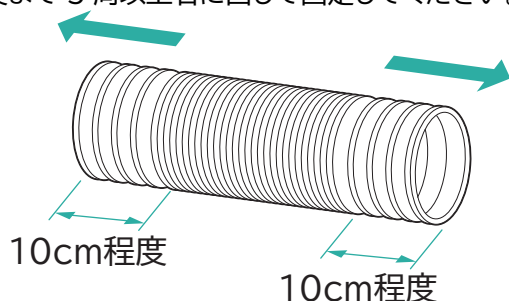


排気ダクトを取り付ける

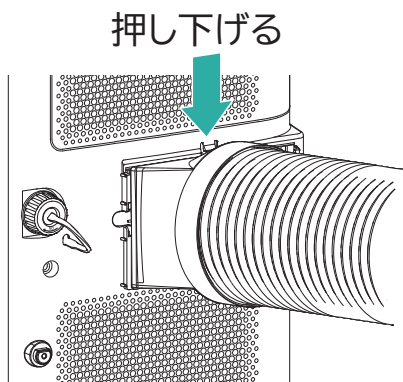
！お願い

- ・ 排気ダクトは排気口に必ず取り付けてご使用ください。
排気ダクトを取り付けずに使用すると、排気の一部が吸気に戻り、能力が低下することがあります。
- ・ 排気ダクト内の金属ワイヤーや排気ダクト端面の取り扱い時は、けがをしないようご注意ください。
- ・ 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。

1. 排気ダクトの両端を 10cm 程度伸ばして、ダクトエンド A・ダクトエンド B を排気ダクトに挿入し、奥まで 5 周以上右に回して固定してください。

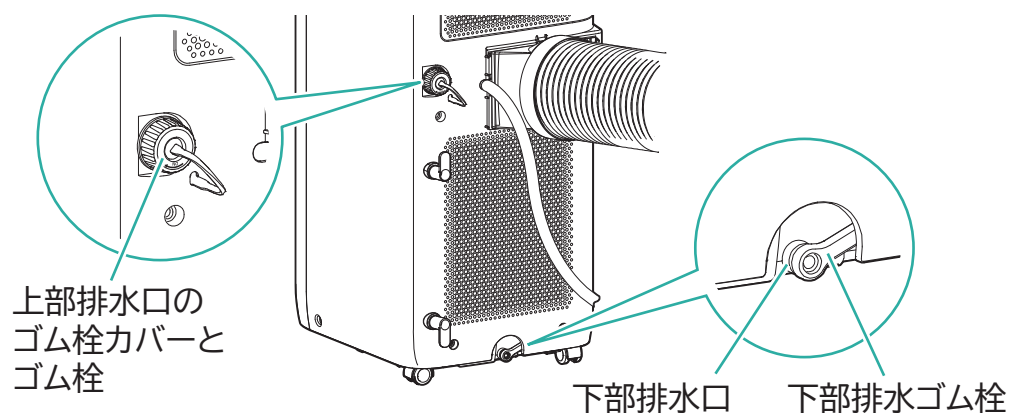


2. ダクトエンド A を排気口の左右の溝に差し込んで、つめで固定されるまで押し下げてください。
※ 排気ダクトを外すときは、つめを押し込み、ダクトエンド A を押し上げて外してください。



3. 排気ダクトを適当な長さに伸ばします。
排気ダクトを調節するときは、ダクトエンド A・ダクトエンド B の根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

上部排水口のゴム栓カバーとゴム栓、下部排水ゴム栓がそれぞれ上部、下部排水口に差し込まれていることを確認する



窓パネルの組み立てと取り付け

窓パネルの組み立てと取り付け時のご注意

- ・ 窓パネルを使用することで、効率的に屋外への排気を行うことができます。
※ 窓パネルを使用しない場合は、排気の位置に注意してください。
- ・ 雨や風が強いときは、必ず窓パネルの使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- ・ シャッターを閉じたまま、本体を運転しないでください。
うまく排気できず、故障の原因になります。
- ・ 外出するときは、窓パネルを外し、窓を閉めて窓自体の鍵をかけてください。
- ・ 組み立てや取り付けは、周囲の安全を確認してから行ってください。
- ・ 排気口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音が発生する場合があります。
- ・ 格子のない指定サイズの引き違い窓に取り付けできます。
- ・ 雨除けカバーは必ず取り付けてください。



注意

- ・ 窓パネルの取り付けは、窓パネルの重量に耐える場所に、確実に取り付けてください。
取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- ・ 取り付けは、必ず付属の窓パネルや指定の部品を使って正しく取り付けてください。
- ・ 窓パネルの移動や再設置をするときは、必ず正しく取り付けられていることを確認してください。
取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。

- ・ 取り付ける前に、はさみ(カッター)を用意してください。

窓の高さを測り、使用する窓パネルを決める

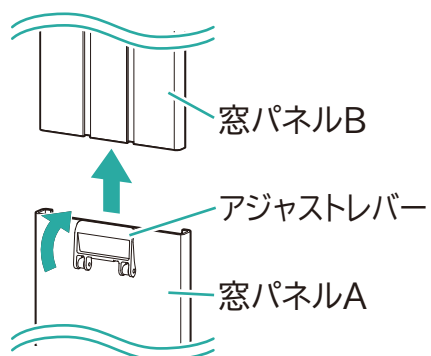
1

- ・ 窓パネルは、窓の高さが 75cm～145cm までの対応になります。
- ・ 75cm～115cm までは、窓パネル A+B の 2 枚を使用し、115cm～145cm までは、窓パネル A+C の 2 枚を使用してください。このとき、必ず 2 枚の窓パネルが 6cm 以上重なるようにしてください。

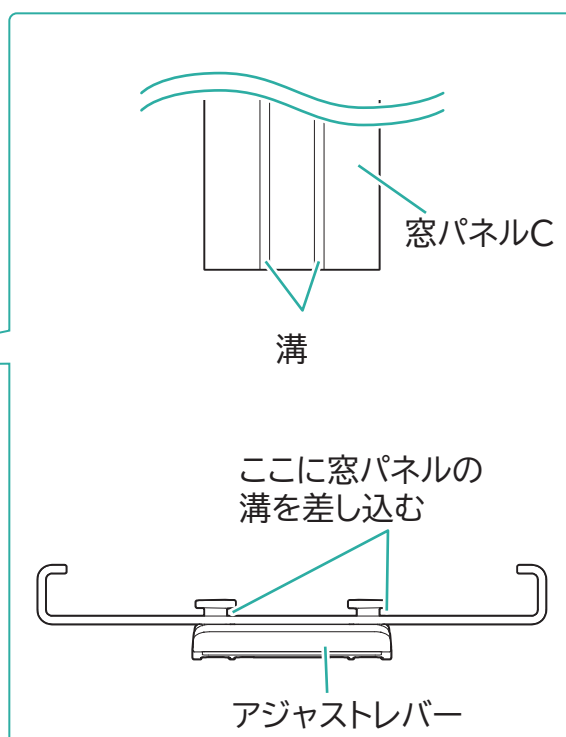
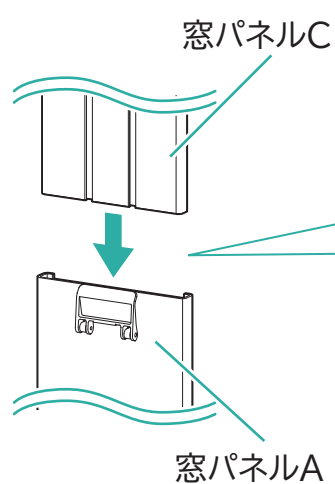
窓パネル A+C(115cm～145cm)の組み合わせにするには

- ・ 購入時は、窓パネル A+B の組み合わせになっています。窓パネル A+C の組み合わせにするには、以下の手順にしたがって窓パネル B を C に変更してください。

1. アジャストレバーを上にあげて、窓パネル B を取り外してください。

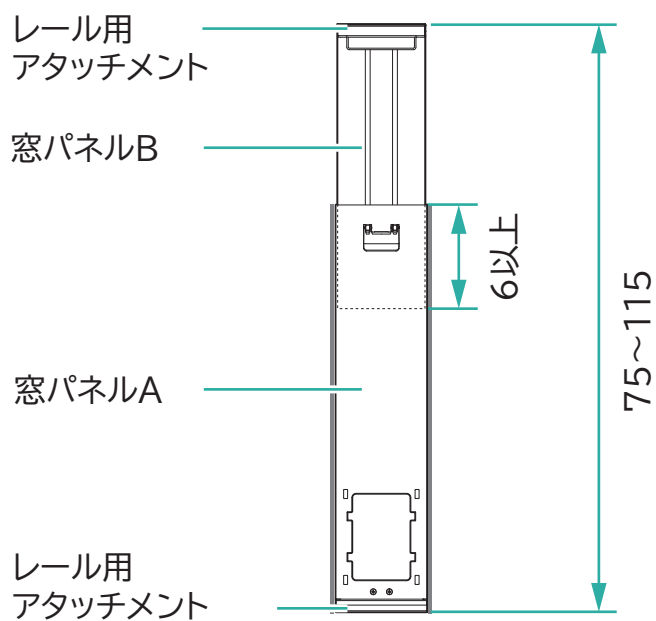


2. 窓パネル C を差し込んで、アジャストレバーを下におろして固定してください。

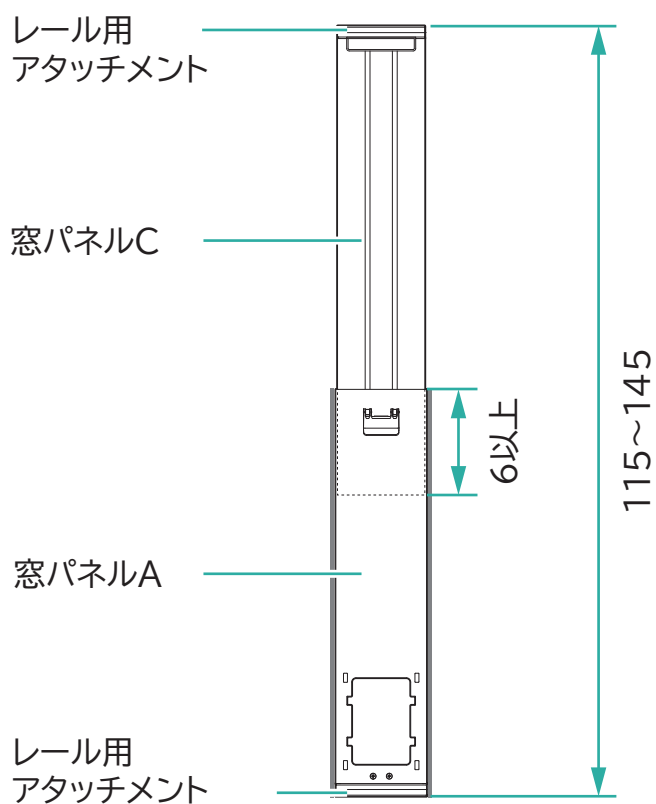


<窓パネルセット寸法> 単位 cm

窓パネル A+B で使用する場合



窓パネル A+C で使用する場合

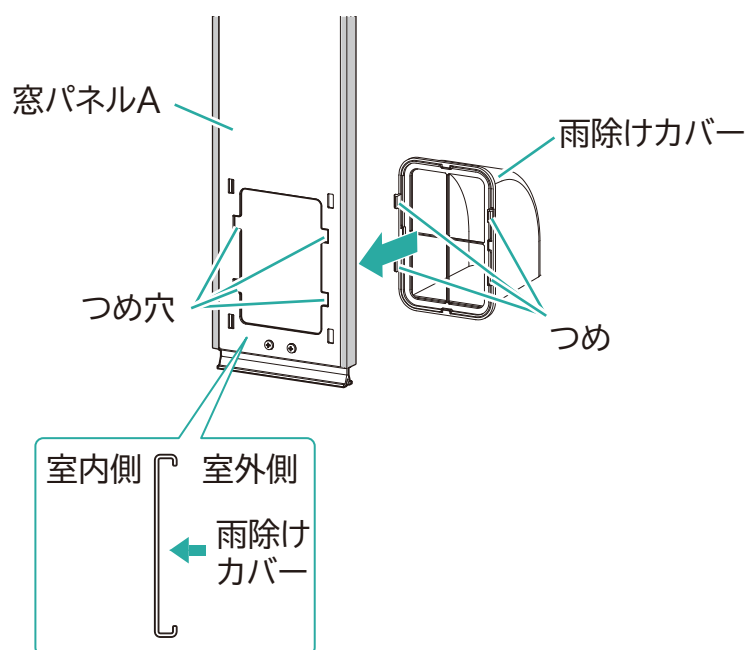


組立方法の詳細は、当社 WEB サイトでご確認いただけます。

雨除けカバーを取り付ける

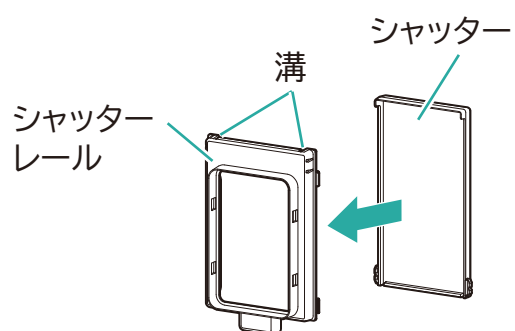
2

- 雨除けカバーのつめを、窓パネル A のつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。

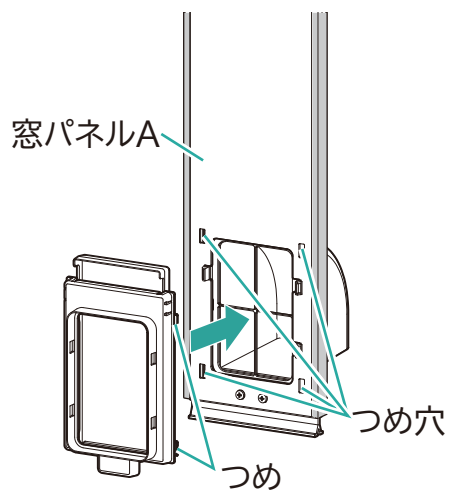


シャッターを取り付ける

1. シャッターとシャッターレールを溝に合わせて重ねてください(購入時は重ねた状態でテープ止めされているので、重ねたままテープをはがしてください)。

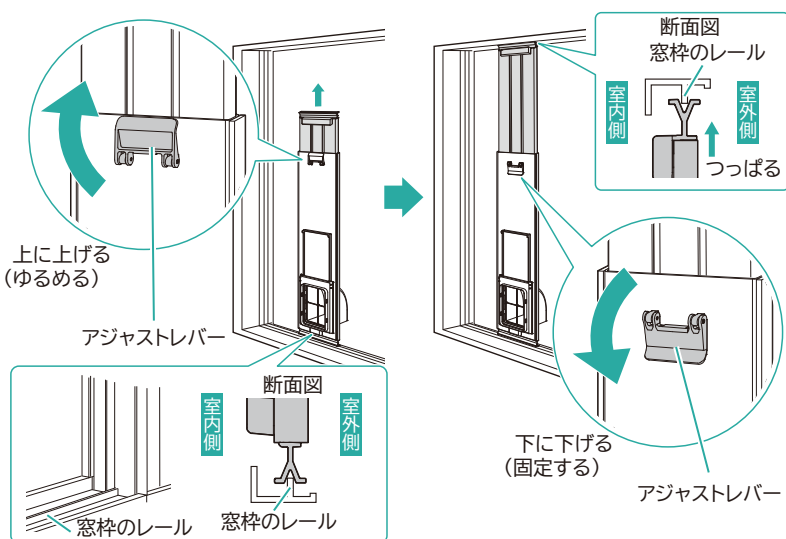


- 3 2. シャッターを重ねたまま、シャッターレールのつめを窓パネル A のつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。



窓パネルを窓枠のレールに合わせて差し込み、固定する

4



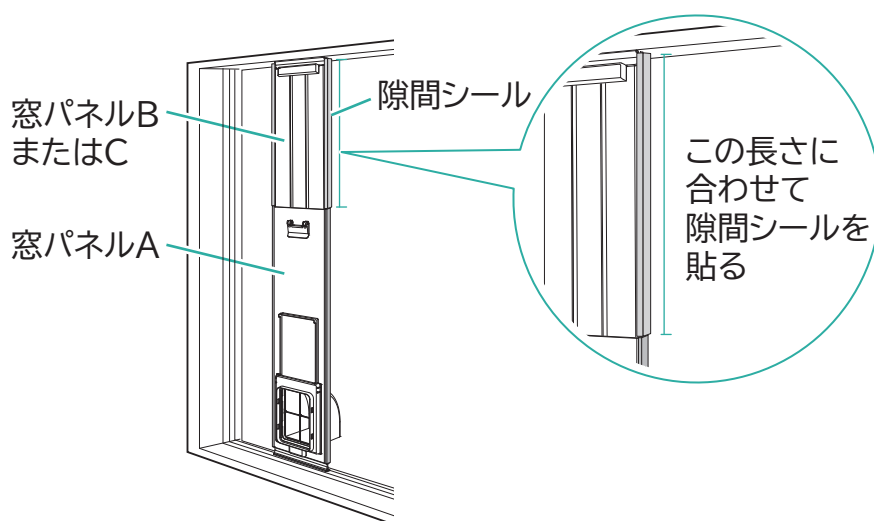
！お願い

- ・ 必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。
- ・ しっかりと上下につっぱってください。

隙間シーンを貼る

- ・ 窓枠の上側のレールから窓パネル A と窓パネル B または C の境目までの長さを測ってください。
- ・ はさみなどで取り付け長さに合わせて切断してください。
- ・ 窓パネル B または C に隙間シーンを貼ってください。

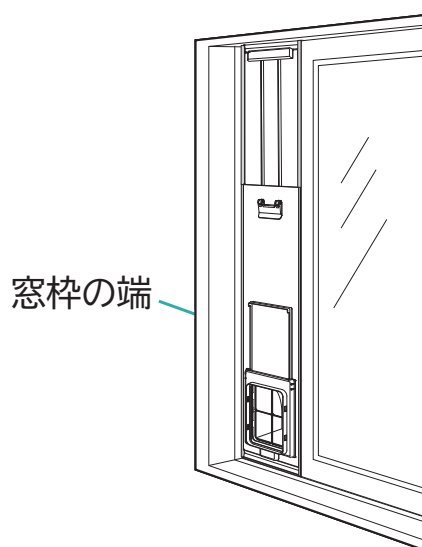
5



6

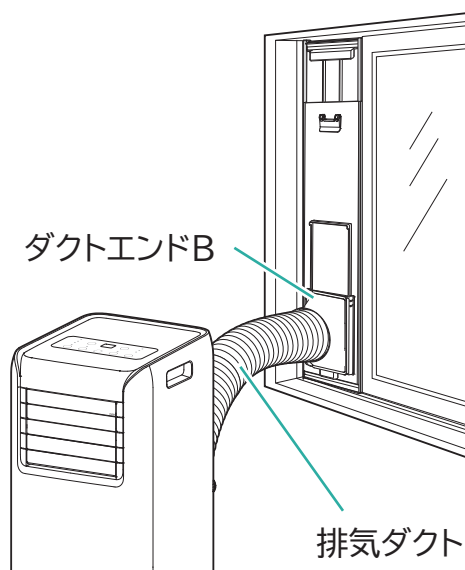
窓パネルを窓枠に隙間なく寄せて、窓を閉める

- ・ 窓の戸で押して、窓のレールと平行に移動させるとスムーズに移動できます。



排気ダクトを窓パネルに取り付ける

- ・取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になりますので、注意してください。
- ・ダクトエンド B を窓パネルの穴に差し込むとき、ダクトエンド B の向きに気を付けて、サッシにダクト エンド B が当たらないように注意してください。

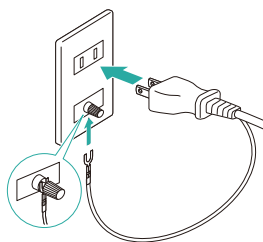


必要に応じて、補助鍵、キャスター受けを使用する
シャッターを開閉する
(→[必要に応じて使用する P32](#))

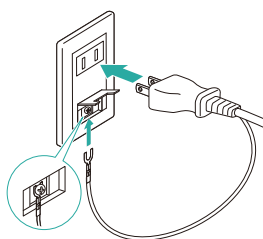
電源プラグをコンセントに差し込む

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の端子を、コンセントのアース接続端子に差し込んで固定します。



- ・ふた付きの場合は開けて接続してください。



- ・コンセントの差し込みがゆるいときは、そのコンセントを使用しないでください。
電源プラグの発熱・発火の原因になります。

アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ・ガス管、水道管、避雷針、電話やベランダの手すりなどのアースに接続しないでください。
感電の原因になります。

！お願い

- ・移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、上部排水口と下部排水口からドレン水を捨ててから行ってください。(排水の方法は「[排水について P48](#)」、「[通常排水 P49](#)」、「[連続排水 P50](#)」をご参照ください。)取り外したゴム栓、ゴム栓カバー、下部排水ゴム栓は元通りに取り付けてください。

必要に応じて使用する

→ [補助鍵の取り付けかた P32](#)

→ [シャッターの使いかた P34](#)

→ [キャスター受けについて P35](#)

ー補助鍵の取り付けかた

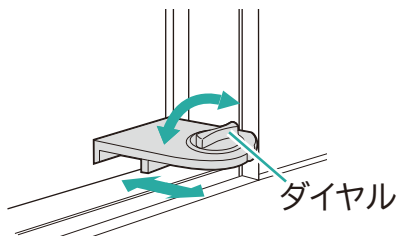
窓パネルを使用するときは、必要に応じて補助鍵を取り付けてください。

補助鍵使用時の注意

- ・ 盗難・事故などの補償はできません。
- ・ 補助鍵を取り付けできない窓枠もありますが、ご了承ください。
- ・ 補助鍵のダイヤルを強く締めすぎないでください。
窓枠や窓を傷めることがあります。

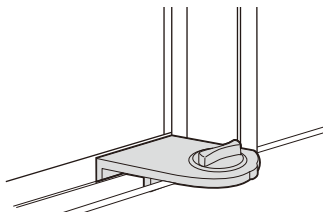
ダイヤルを左右に回して、窓枠の奥行き幅に入るように調節する

1

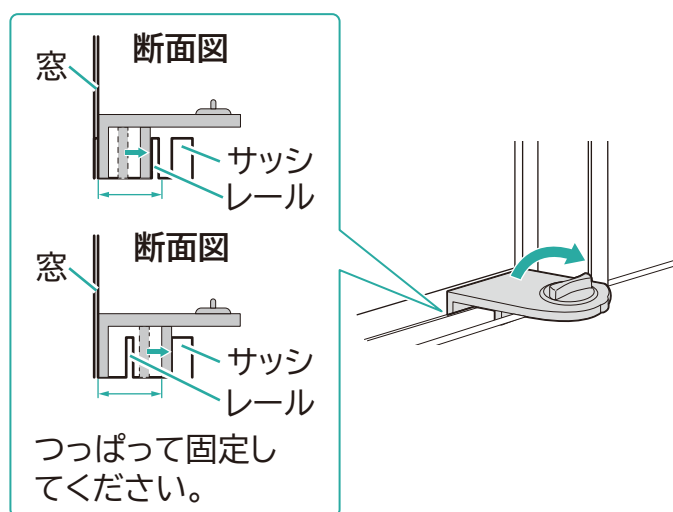


手前と奥の窓や窓パネルとの間に、隙間がなくなるまで窓の戸を端へ押し付け、補助鍵を窓枠に挿入する

2



ダイヤルを右に回し、手前と奥の両方の窓をロックする



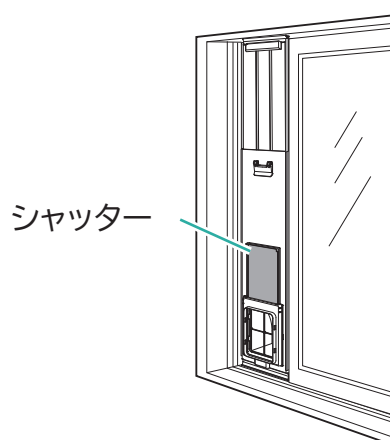
—シャッターの使いかた

排気ダクトを使用しない、または運転しないとき、シャッターを閉じることで、室外からのにおいやほこりなどが、部屋へ入らないようにできます。

運転時はシャッターを開けて使用してください。シャッターが閉まっている状態で運転した場合、お部屋が冷えません。また、うまく排気できず、故障の原因になります。

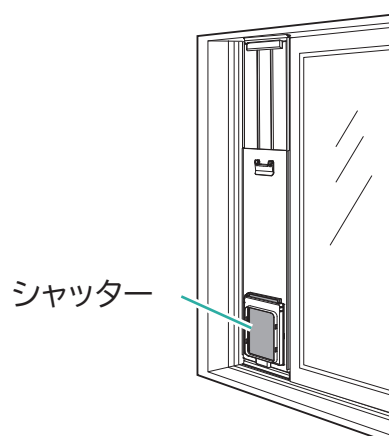
・ 運転するとき(開状態)

ロックするまでシャッターを上にはスライドする。



・ 運転しないとき(閉状態)

ロックを外し、シャッターを下にはスライドする。

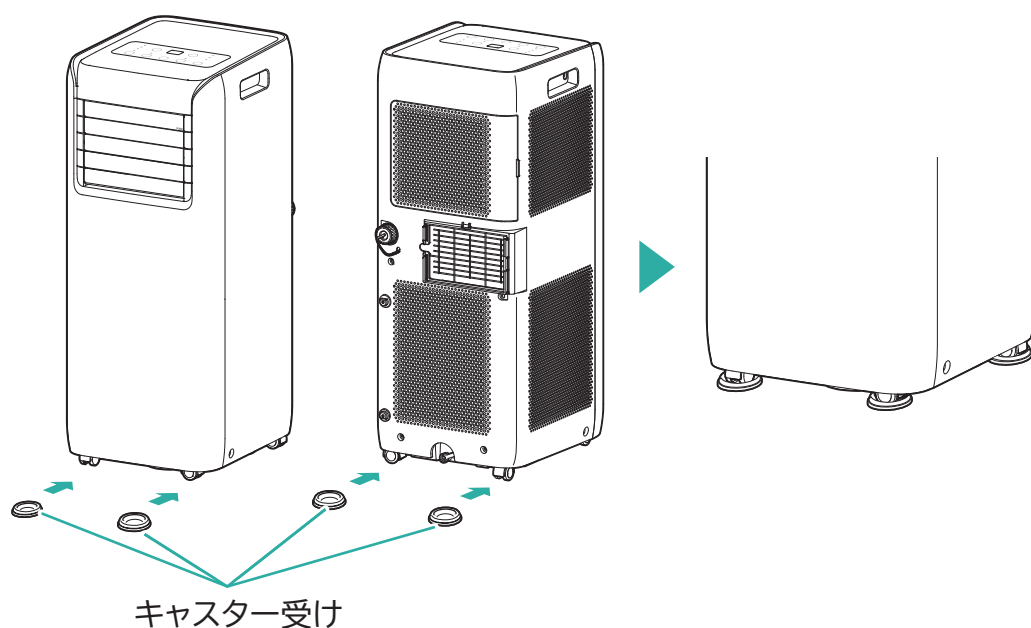


— キャスター受けについて

本製品を長時間同じ場所で使用すると、床に傷がついたり、床の材質によってはキャスターの跡がついたりすることがあります。必要に応じてキャスター受けをご使用ください。

キャスター受け設置時の注意

- ・ 内部の水を捨ててから、キャスター受けを設置してください。
水もれの原因になります。
- ・ キャスター受けを設置するときは、本体を転倒させないように注意してください。
けがや、床または家具などを傷つける原因になります。



使いかた

冷風運転

冷風運転時のご注意

- ・ 温度／タイマーボタン(－/＋)を 1 回押すごとに 1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- ・ 経済的な使いかたとして 26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- ・ 設定温度は、16℃～30℃です。
- ・ ご使用の環境によっては、設定温度まで室温が下がらないことがあります。
- ・ お部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。お部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。(ファンは連続運転をしますが、冷風は出ません。)
- ・ リモコンの  ボタンで再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回リモコンで設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

2 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、冷風に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定、現在設定温度が表示されます。

3 本体の   またはリモコンの   ボタン(－/＋)を押して、温度を設定する

- ・ 1 回押すごとに 1℃変化します。

4 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して風量を選ぶ

- ・ ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



- ・ 風量が**自動**の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

— 運転を停止するには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

除湿運転

除湿運転時のご注意

- ・ 設定温度の変更はできません。
- ・ 風量は、弱となり変更はできません。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1

本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

2

本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、除湿に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。(風量は弱となり、変更はできません。)

— 運転を停止するには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

送風運転

送風運転時のご注意

- ・ 設定温度の変更はできません。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

2 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、送風に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。

3 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、風量を選ぶ

- ・ 本体またはリモコンの  ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



— 運転を停止するには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的にタイマー運転します。

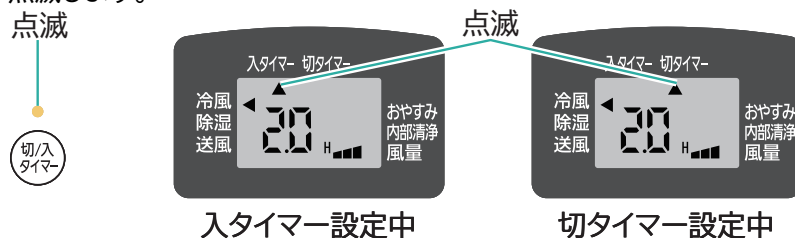
タイマー運転時のご注意

- ・ 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- ・ 切タイマーは運転停止中には設定できませんので、運転中に切タイマー設定をしてください。
- ・ タイマーは運転中には設定できませんので、運転を停止させてから、入タイマー設定をしてください。

1 切タイマーは運転中、入タイマーは運転停止中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

2 本体の   またはリモコンの   ボタンを押して、表示部が点滅中に時間を設定する

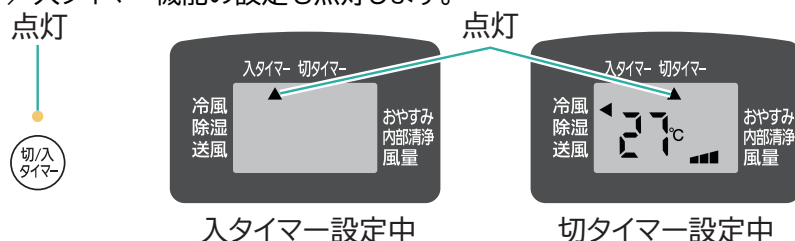
- ・ お好みの時間に設定してください。(最小 0.5 時間、最大 24 時間までです。)
- ・ 本体で設定中は切/入タイマーランプが点滅し、リモコンで設定中はタイマー機能の設定が点滅します。



- ・ 1 回押すごとに 10 時間までは 0.5 時間、10 時間以上は 1 時間ずつ変化します。

3 本体の  またはリモコンの  ボタンをもう一度押す

- ・ タイマー運転を開始します。
- ・ 本体の切/入タイマーランプが点灯します。リモコンで設定時は、リモコン表示の切タイマー/入タイマー機能の設定も点灯します。



- 何もボタンを押さなくても、約 5 秒後に切／入タイマーランプは点灯し、切タイマー／入タイマーが設定されます。

— 運転を停止するには

- 本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。本体の切／入タイマーランプまたはリモコンのタイマー表示が消灯します。

おやすみ運転

おやすみ運転時のご注意

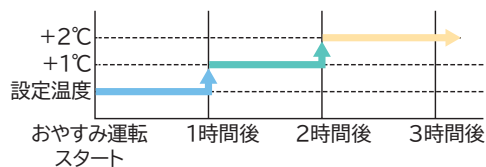
- ・ おやすみ運転は冷えすぎ防止運転であり、自動的に運転を停止するタイマー運転ではありません。
- ・ おやすみ運転は冷風運転時に設定できます。

冷風運転中に本体の またはリモコンの ボタンを押す

- ・ 本体のおやすみランプが点灯し、リモコンで操作時はリモコン表示部におやすみモード表示「」も表示されます。



- ・ おやすみ運転をすると、セットして約 1 時間後、設定温度を 1℃アップさせ、さらに 1 時間後(おやすみ運転をセットして 2 時間後)設定温度をもう 1℃アップします。設定温度が 30℃より高くなることはありません。



- ・ その後は、2℃アップした設定温度で運転を続けます。

- ・ おやすみ運転中に本体操作パネルで設定温度を変更した場合、おやすみ運転は一度リセットされ、その設定温度からおやすみ運転を再開します。
- ・ おやすみ運転中にリモコンで操作をした場合、おやすみ運転は一度リセットされ、リモコンの設定温度からおやすみ運転を再開します。また、リモコンのおやすみモード表示「」が表示されていないとおやすみ運転は解除されます。

— おやすみ運転を取り消す

- もう一度本体の^{（おやすみ）}内部清浄（長押し）またはリモコンの^{（おやすみ）}ボタンを押すと、本体のおやすみランプまたはおやすみモード表示「▶」が消灯し、おやすみ運転が取り消されます。



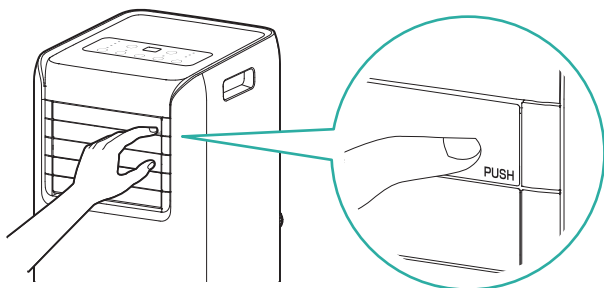
風向調節

風向調節時のご注意

- ・ 吹出口にピンや針などの金属物や、指を入れない。
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になるおそれがあります。

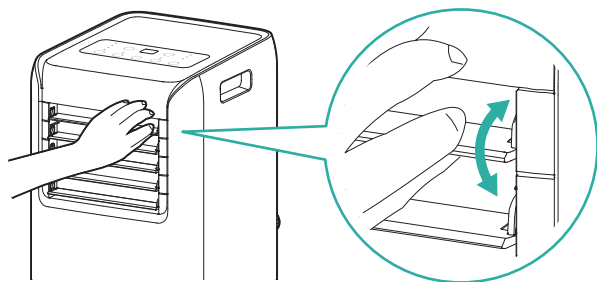
ルーバーの右上の「PUSH」を押して手前に出す

1



ルーバーをつまみ、お好みの方向に調整する

2



その他の機能

→ [内部清浄機能の設定 P45](#)

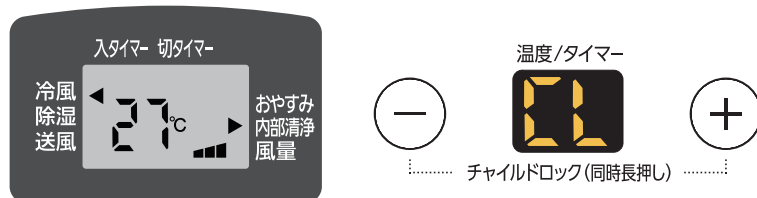
→ [チャイルドロック P47](#)

内部清浄機能の設定

- ・ 内部清浄は本体もしくはリモコン操作により設定できます。
- ・ 内部清浄は、約 60 分間ファンをまわして本体内部の熱や湿気を吐き出す機能です。

本体の  を 3 秒間長押しする、もしくはリモコンの  ボタンを押す

- ・ リモコン表示部に内部清浄表示「▶」が表示されます。本体表示部に「」と表示されます。
- ・ 約 60 分間内部清浄運転をした後、自動的に停止します。



内部清浄運転中

- ・ 本体の  もしくはリモコンの  ボタンを押すと、直前の設定モードで運転を開始します。
- ・ 上記の設定を行うと、運転時間がリセットされ、改めて約 60 分間運転します。

内部清浄を取り消す

- ・ 本体の  もしくはリモコンの  ボタンを押すと、内部清浄機能の設定が取り消されます。
- ・ 切タイマー中に内部清浄を開始すると切タイマーは無効になります。
- ・ 入タイマー中に内部清浄を開始した場合は、入タイマーは継続されます。

※ 入タイマーによる運転開始時刻に内部清浄機能が作動している場合、内部清浄運転終了後に入タイマーによる運転が開始します。

—チャイルドロック

- ・ チャイルドロック中は、チャイルドロック取り消しの操作以外は動作しません。
- ・ リモコンにチャイルドロックはかかりません。
- ・ 停止中もしくは内部清浄運転中はチャイルドロックはかかりません。
- ・ 電源プラグを抜くとチャイルドロックは取り消されます。

本体の   ボタンを同時に 3 秒間長押しする

- ・ 本体表示部に「」と設定温度が交互に表示されます(送風時は「」表示のみ)。



設定を取り消す

- ・ もう一度本体の   ボタンを同時に 3 秒間長押しすると、チャイルドロックは取り消されます。

排水する

排水について

本製品はドレン水がたまりにくくなるノンドレン方式です。(ドレン水は蒸発し、排気ダクトから排出されます。)

高い湿度が続くと、排水が補えず内部にドレン水がたまり、満水「H8」エラーが表示されます。その場合は、2 種類の方法から排水を行ってください。

通常排水(下部排水口):通常運転時

連続排水(上部排水口):冷風運転・除湿運転時に頻繁に満水表示(「H8」エラー)する場合

排水時のご注意

- ・湿度が高い場所で運転を行うと、ドレン水がたまりやすくなり、本体表示部に「H8」が表示されて、ドレン水が満水になり停止することがあります。停止したときは、容器を用意しゴム栓を取り外して、本体内にたまったドレン水を排水してください。ドレン水を排水した後は、ゴム栓を元通りに取り付けてください。ゴム栓を取り外したまま運転すると、床や家財をぬらす原因になります。



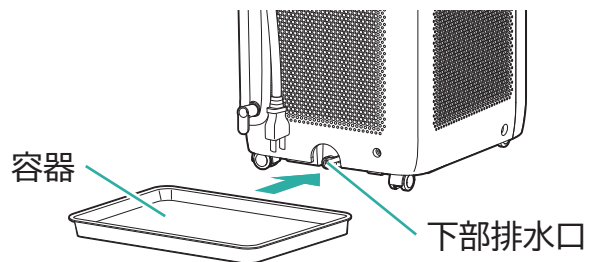
注意

- ・必ず電源を切って、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。排水中に「H8」エラーが解除されて運転が開始し、感電するおそれがあります。

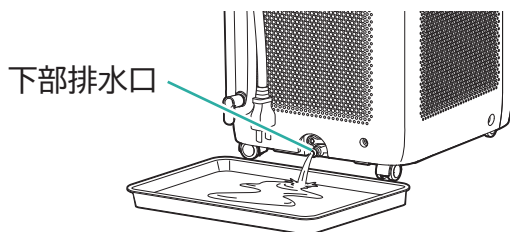
通常排水

容器を用意して、下部排水口の下に置く

1



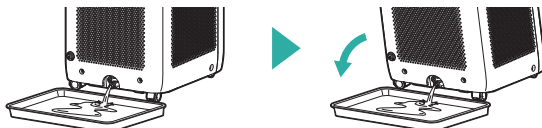
下部排水口から下部排水ゴム栓を取り外して排水する



2

！お願い

- ・ 排水しても、本体表示部に「H8」が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。（容器内の水を一度捨ててから傾けてください。）



- ・ ドレン水が容器からあふれないように注意してください。

3

排水後は下部排水ゴム栓を取り付ける

連続排水

冷風運転・除湿運転時に頻繁に満水表示(「H8」エラー)する場合

排水時のご注意

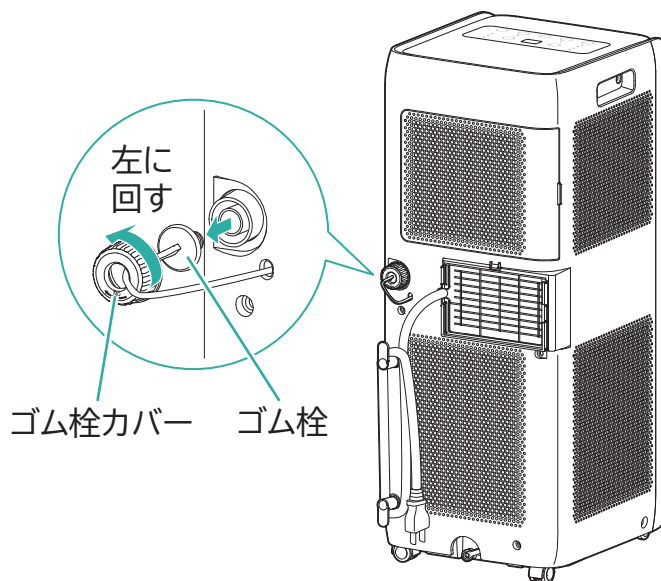
- ・ 運転した後にゴム栓を取り外すと、中に残っている水がこぼれることがあります。
- ・ 排水の容器の水量や排水ホースの外れ等を確認してください。
- ・ 就寝時など、長時間容器の水量を確認できない時は、連続排水をしないでください。

1 付属品の排水ホースを準備する

上部排水口のゴム栓カバーを左に回して取り外し、ゴム栓を取り外す

- ・ 運転した後にゴム栓を取り外すと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。

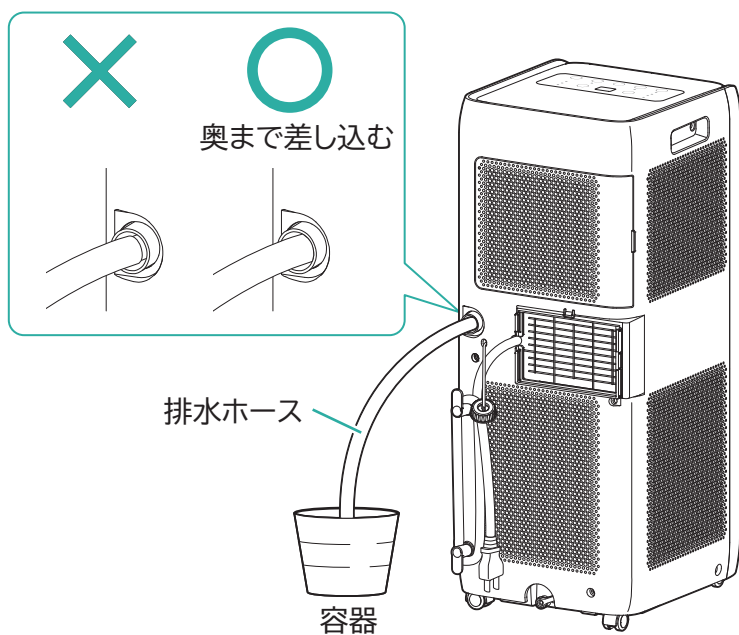
2



上部排水口に排水ホースを取り付ける

3

- ・ 排水ホースは奥まで取り付けてください。
- ・ 容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。



4

連続排水を止めるときは、排水ホースを取り外し、ゴム栓とゴム栓カバーを取り付ける

お手入れ

お手入れについて



注意

- お手入れをするときは、必ず本体の  またはリモコンの  ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。
- 本体の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。
また、引きずって移動しない。
けが、水もれまたは床を傷つける原因になります。

関連ページ

- [本体 P53](#)
- [エアフィルター P54](#)
- [保管のしかた P56](#)

本体

❗ お願い

- ・ 40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うと本体が変形することがあります。
- ・ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。
- ・ 本体を水洗いしないでください。

- ・ 柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・ 特に汚れがひどい場合は、かたく絞った布などで水拭きしてください。

エアフィルター

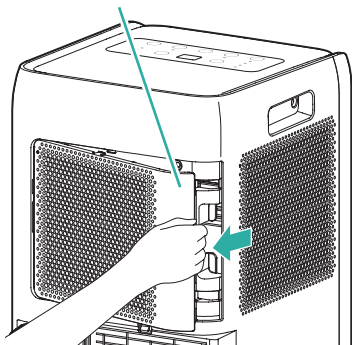
！ お願い

- ・ 40℃以上のお湯で洗わないでください。エアフィルターが縮むことがあります。

シーズン中は 2 週間に 1 回程度掃除してください。

フィルターカバーを本体から取り外す

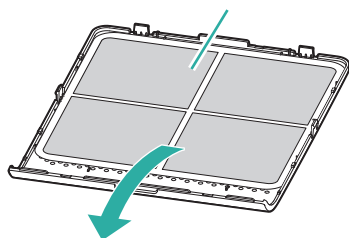
フィルターカバー



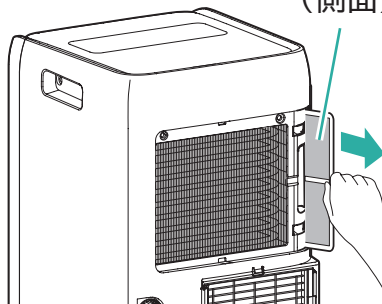
1

- ・ エアフィルター(背面)を取り外してから、エアフィルター(側面)を取り外してください。

エアフィルター(背面)



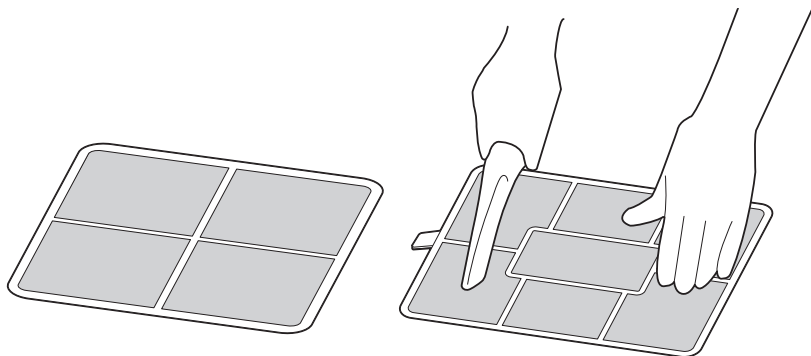
エアフィルター
(側面)



掃除機などでほこりを吸い取る

- ・ エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。

2



通常時:掃除機でほこりを吸い取る

汚れがひどいとき:水洗いする

※水洗い後は、エアフィルターを乾かしてください。

掃除が終了したら、取り外した逆の手順でエアフィルターとフィルターカバーを取り付けてください。

保管のしかた

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ エアフィルターは掃除して、取り付けておいてください。
- ・ 内部の水は捨ててください。
- ・ 排気ダクトは取り外し、本体をビニールカバーなどで覆ってください。
- ・ リモコンから乾電池を取り出してください。
- ・ 湿気の少ない、風通しのよい場所で保管してください。

こんなときは

こまったときは

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

— 運転しない

→ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでいますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→ 電源が切になっていませんか？

本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

→ 指定の温度範囲外で使用していませんか？

冷風・除湿運転時は、室温 16～35℃の範囲でお使いください。

指定の温度範囲外で使用する、本体内部の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。その場合数分お待ちください。

— 停止直後に再運転できない

→ 3 分以上経過後、電源を入にしてください

本体内部の保護機能がはたらき、3 分程度運転が開始しない場合があります。

— 運転モード変更直後に冷風が出ないことがある

→ その状態で数分お待ちください

運転モードの切り替えを行っています。異常ではありません。

— 冷えが悪い

→ 排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていますか？

排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられているかご確認ください。[\(設置する P22、窓パネルの組み立てと取付け P25\)](#)

→エアフィルターが汚れていませんか？

エアフィルターを掃除してください。(お手入れ「[エアフィルター P54](#)」)

→冷風運転、除湿運転のときは、他の熱源を取り除いてください

→排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていますか？

排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられているかご確認ください。(設置する [P22](#)、窓パネルの組み立てと取付け [P25](#))

→吹出口や吸込口・排気口がふさがっていませんか？

ふさいでいるものを取り除いてください。窓パネルのシャッターを開けてください。

→コンセントは単独で使用してください

単独で使しないと電圧が低下することがあります。

—音がする

→運転直後「シューツ」という音がすることがあります

異常ではありません。本体内部の冷媒が流れる音です。

→運転の開始または停止時に「ピシピシ」と音がすることがあります

異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。

→運転の開始または停止時に「ピシピシ」と音がすることがあります

異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。

→本体内部でコンプレッサーが作動しています

振動と共に音を発しますが、異常ではありません。

また、常時作動しているわけではなく、急に作動することもあります異常ではありません。

→排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていますか？

排気ダクトや窓パネルが確実に取り付けられていないと、音が大きくなることがあります。(設置する [P22](#)、窓パネルの組み立てと取付け [P25](#))

— 運転音が大きい

→不安定な場所に設置していませんか？

正しく設置してください。(設置する [P22](#))

→エアフィルターや排気ダクトが正しく取り付けられていますか？

正しくエアフィルターや排気ダクトを取り付けてください。共振により音の原因になります。

— においがする

→運転中に吹き出す風がにおうことがあります

本体やエアフィルターをお手入れしてください。(お手入れ「[本体 P53](#)」、「[エアフィルター P54](#)」)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P65](#)

エラー表示がでたら

下記英数字コードはエラー表示です。

英数字コード	原因・処置
	ドレン水が満水になっています。 排水方法にしたがって、排水を行ってください。 (排水について P48)
	本体内部の異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。
	室内温度センサーの異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
	配管温度センサーの異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
	過熱防止保護装置がはたらいています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 排気口周辺に排熱を妨げるものがあれば、取り除いてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P65](#)

アフターサービスとその他の内容

仕様

型番	IPA-2223G
電源	AC100V 50/60Hz
冷風能力	2.0/2.2kW
消費電力	700/830W
冷風運転電流	8.1/8.3A
冷媒	R32
冷媒封入量	210g
コード長さ	約 1.9m
製品寸法(本体)	幅 286×奥行 320×高さ 700mm
質量	21.0kg
電流ヒューズ	T3.15AH 250V

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

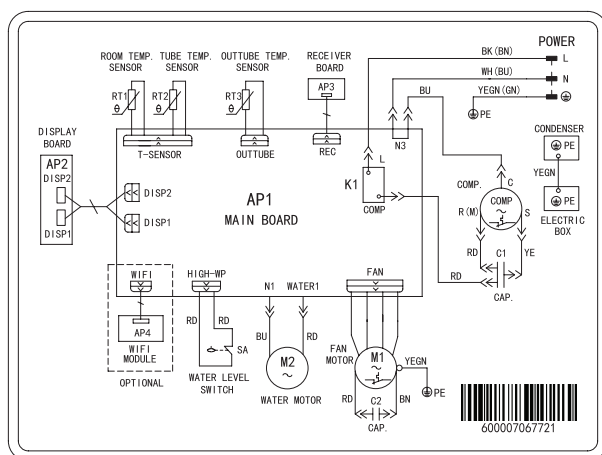
冷風能力については当社自主基準の下記条件で測定した値です。

(1) 冷風能力は、空気条件 30℃、相対湿度 70%強運転時の値です。

(2) 「/」で示されている値は左側が 50Hz、右側が 60Hz の値です。

なお、使用環境や使用状況により商品の性能が異なる場合があります。

電気配線図



電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、必ずお買い上げの販売店またはアイリスコールにご依頼ください。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】 本体ラベルに記載

【設計上の標準使用期間】 9 年

—保証書

- ・ 標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- ・ 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件(JIS C 9921-3 に基づく)

		冷風
環境条件	電源電圧	単相 100V
	周波数	50／60Hz
	温度(室内)	27℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度:19℃)
	設置条件	標準的な設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1 年間の使用日数 (東京モデル)	6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間
	1 日の使用時間	9 時間／日
	1 年間の使用時間	1,008 時間

設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール:[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)(通話料無料)

平日・土日祝日 9:00～17:00（年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く）

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>